



# ほんなこてゆたたり



文責 校長 平井 敏博

令和4年度教育目標 目指すは、“とことん学び続け、とことん学び合う人”

## お宝体験、お宝学び、<sup>そくそく</sup>続々

～各学年での、様々な取り組み～

### 【6年生の租税教室 6月9日(木)】

武雄法人会からお見えになって、6年生の租税教室を行いました。税金の仕組みや、税金がどのようなことに使われているかなど、ビデオ資料等も活用して、分かりやすく説明していただきました。教材に、一億円のジュラルミンケース（リアルでした。）を用意する等、工夫されていました。

### 【4・5・6年生 SNSの講演会 6月10日(金)】

SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）は、これからの生活に密接に関わってきます。便利で、楽しいことも増える反面、危険も伴ってきます。大人が、しっかり管理して、適切な環境づくりや指導等も必要です。子ども達の生活に入り込むスピードが急激で、早急な対応も求められています。

今回、「ITサポートさが」より、陣内 誠先生をお招きしました。各種 SNS の特性を押さえた上で、潜む危険とその対処について学びました。「自分の未来を守る」ということで、事例を通した分かりやすい説明でした。ぜひ、お子様に、その時の内容をお聞き下さい。

今後、学校と家庭が連携して取り組むことが、さらに大事になると思います。

### 【1、2年生の“芋さし” 6月15日(水)】

7名の地域のゲストティーチャーをお招きし、“芋さし”を行いました。芋苗については、道の駅『たらふく館』より、提供していただきました。地域に支えられていることを、またまた、改めて実感しました。



【租税教室の様子】



【SNS講演会の様子】



【“芋さし”の様子】

## 大人も子どもも、

### わからないこと、できないこと、思い通りにいかないこと、だらけ

～身に付けたい（子ども達に身に付けさせたい）3つのこと～

見出しが、なんとなく、ネガティブ（消極的、否定的）な感じで、申し訳ございません。しかし、全く、そのような気持ちで書いておりません。

日常生活は、わからないこと、できないこと、思い通りにいかないこと、だらけだと思います。大人も子どもも、内容は違っていても、同じではないでしょうか。そこで、どんな態度で、どのような習慣で、対応していくのかが、とても大事なことだと考えております。

まず、「わからないこと、できないこと、思い通りにならないことは、当たり前で、逆に、そう感じないのは、“勘違い”ではないか」ぐらいに考えても、良いのではないのでしょうか。だから、自分の今できることを地道にやって、自分が成長、伸び、変容していくことを楽しむことができれば、と思います。

次に、自分に籠らない、独りよがりにならないことが大事だと思います。いろいろな人と意見交換して、知恵を出し合って、協働していく。そのことが、問題・課題を打開していく、有力な方法となると考えております。

問題・課題にぶつかった時は、不安になったり、憂鬱に襲われたり、気持ちがとてもへこんだりします。当然です。そんな内面に、どのように対応していくかが、3つ目に大事なことだと考えます。

上記のことを、身に付けることを目指して、「とことん学び続け、とことん学び合う人」を学校の教育目標に掲げております。決して、“勉強”に限定していることではありません。登校班での登校も、給食時間も、掃除時間も、各種行事も、友達とのトラブルも、すべて、“学び”のチャンスです。学校は、“学ぶ”機会に溢れています。その機会を、どのように“学び”につなげていくかが、大人（教師）の役割だと考えます。

学校教育目標を、“絵に描いた餅”や“お飾り”にしないようにがんばります。学校、家庭、地域に共感していただき、みんなで取り組むことができれば、子ども達の持ち味を、さらに存分に引き出すことができると考えております。